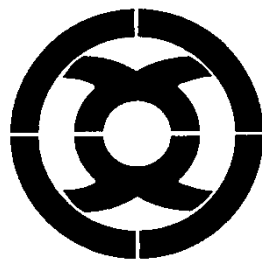


第2次

秩父市総合振興計画



平成28年3月

「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」の実現をめざして

私たちのまち「秩父市」は全国に誇れる数多くの魅力を持っています。

例えば、埼玉県内で48年ぶりの国の天然記念物として指定された「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」です。これは、日本列島形成当時の日本近海で起こった地殻変動や生物群集及び古環境の変遷を示すもので、秩父地域にみられる地層の露出状況や化石標本の産出状態が良好であり、学術的にも貴重なものです。

また、二瀬、合角、浦山、滝沢の4つのダムを有していることからわかるとおり、私たちの地域は、荒川水系の潤沢な水を生み出し、人々の生活を潤わせた「秩父銘仙」や「セメント」、「森林」など、豊かな食文化やものづくりの礎となっています。

さらに、独特の風土により育まれた数多い祭りや伝統芸能などは、秩父地域の資源の奥深さ、豊かさを物語り、私たちだけではなく訪れる方々も大いに魅了しています。

この魅力に満ちた秩父市を未来永劫、輝く「日本一しあわせなまち」に市民の皆さまとともに手を取り合い、築きあげ、「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」を実現すべく、第2次秩父市総合振興計画を策定いたしました。

策定当初には、これからの秩父市の50年、100年を見据え、市民生活を守り抜き、文化活動の拠点となる秩父宮記念市民会館・市役所本庁舎が完成します。

また、これに先立ち、WHO（世界保健機関）の推奨するセーフコミュニティの国際認証を受けることができました。今後も、「安心・安全なまち」を市民の皆さまとの協働により創り上げていかなければなりません。

私は、この総合振興計画に基づき、引き続き、このような将来に向けた秩父の基盤づくりはもちろんのこと、ファシリティマネジメントの精神により、行政のスリム化、財政健全化を進め、地球環境を守り、伝統文化を継承し、子どもたちの基礎学力向上を達成させてまいります。

そして、まちづくりにあたっては、全ての市民の皆さまが、秩父市で生涯活躍でき、幸せを感じられるよう全力を尽くしてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

この計画の策定に向け貴重なご意見、ご提言をいただきました皆さまをはじめ、策定に携わった関係者の皆さまに心から感謝を申し上げます。



平成28年3月

秩父市長

久喜邦康

